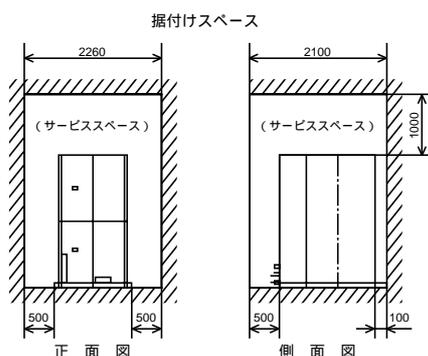


3.1.7 据付工事関連事項

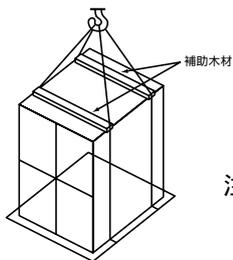
(1) 据付場所の選定

- ⚠ 警告**
- 蓄熱ユニットの据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、ケガの原因になります。
 - 室外ユニット吸込、吹出口の障害とならない位置に設置してください。
 - 蓄熱ユニット内部の製氷コイル（高さ1930mm、巾820mm）を上面より入れ替えるスペースが確保できない場合は、本体の移動ができる様にしてください。



(2) ユニットの搬入・据付

(a) 搬入

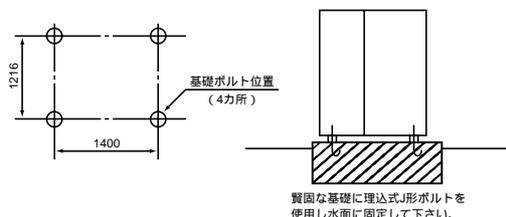


搬入はできるだけ据付場所の近くまで梱包のまま搬入してください。解梱して搬入する場合は、ユニットを傷つけないよう上部を補助木材で固定してください。

- 注(1) 必ず4点で吊り上げてください。
 (2) ワイヤー間は60度以下としてください。

(b) ボルト固定位置

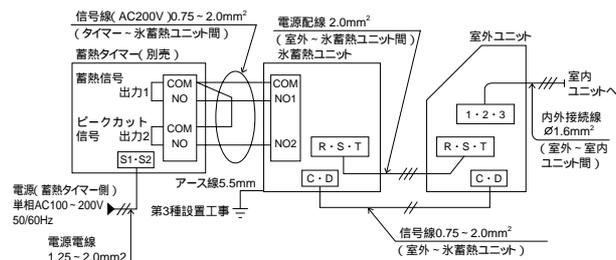
- ⚠ 警告** 台風などの強風、地震に備え、基礎ボルト（M16）を使用してユニットの脚を必ず固定してください。固定が不十分だと転倒などによる事故の原因となることがあります。



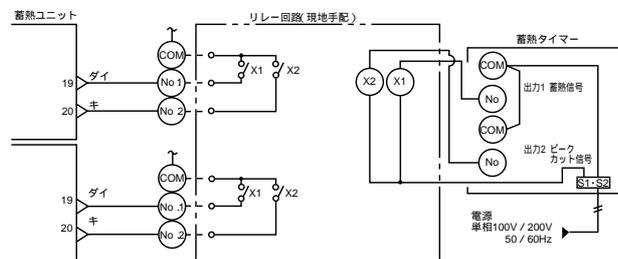
- ⚠ 注意** 蓄熱ユニットを水平に設置しないと、正常に蓄熱運転ができない場合があります。

(3) 電気配線

下記以外の配線要領は、室内ユニット、室外ユニット付属の据付説明書に従って工事してください。蓄熱ユニットと室外ユニット、室内ユニット間配線を次の要領で実施してください。



蓄熱タイマーに複数台の蓄熱ユニットを接続する場合



- 注(1) 蓄熱ユニットが3台以上の場合も上図に準じてリレー回路を組んでください。
 (2) リレーの接点は各々電氣的に独立したものを使用してください。
 (3) 蓄熱タイマーの接点容量は誘導に対しては15Aです。蓄熱タイマーの接点に流れる電流は15Aを超えないようにリレー回路を構成してください。

ユニットのアドレス設定

電源をOFFして室内ユニットのアドレススイッチを操作してください。アドレスの設定は手動設定で行ってください。

アドレス番号設定

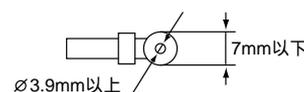
室内ユニットのアドレススイッチの設定については、室内ユニットの据付説明書をご参照ください。

蓄熱タイマー取付工事

蓄熱タイマーは別売のISU-WTをご使用ください。JISボックスと蓄熱タイマー用信号線および蓄熱タイマー用電源線をあらかじめ取付場所に埋込んでおいてください。

信号線および電源線を蓄熱タイマーに取付けてください。（信号線にはシールド線を使用しないでください）

配線の接続には絶縁チューブ付き丸型圧着端子（M3.5用）をご使用ください。



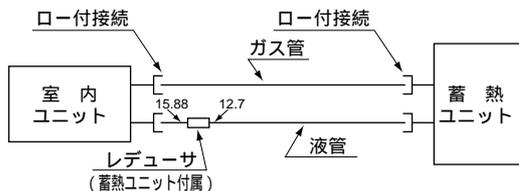
蓄熱タイマーパネルを付属のネジでJISボックスに固定してください。

蓄熱タイマーにピークカット時間帯と蓄熱時間帯のプログラムを入力してください。入力方法は取扱説明書をご参照ください。

(4) 配管工事

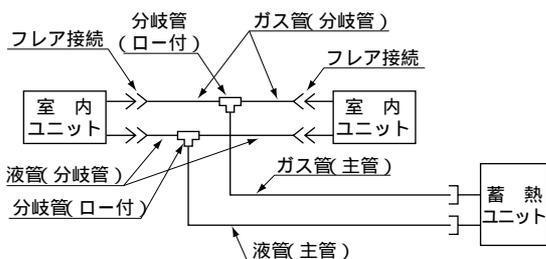
(a) 配管仕様

1) シングル仕様



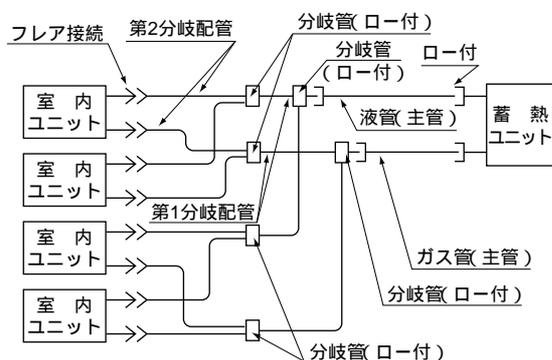
	室外・蓄熱ユニット間	室内・蓄熱ユニット間
液側	12.7	12.7
ガス側	25.4	28.58

2) ツイン仕様



項目 形式	主管部		分岐管部		分岐管セット
	ガス管	液管	ガス管	液管	
ISU10A	28.58 × 1.4mm	12.7 × 1.0mm	19.05 × 1.0mm	9.52 × 0.8mm	DIS-WB

3) ダブルツイン仕様



項目 形式	液管			ガス管			分岐管セット
	第1分岐管	第2分岐管	主管	第1分岐管	第2分岐管	主管	
ISU10A	9.52 × 0.8mm	9.52 × 0.8mm	12.7 × 1.0mm	19.05 × 1.0mm	15.88 × 1.0mm	28.58 × 1.4mm	DIS-WA WB

- 注(1) ツイン，ダブルツイン仕様の配管接続には専用の分岐管セットを必ず使用してください。
 (2) シングル仕様のレデューサ（蓄熱ユニット付属品）は室内ユニットに近い所に取付けてください。
 (3) 分岐管は水平に分岐するように取付けてください。
 (4) 分岐部には付属の断熱材を取付けてください。

分岐管セット一覧表

・ DIS-WA

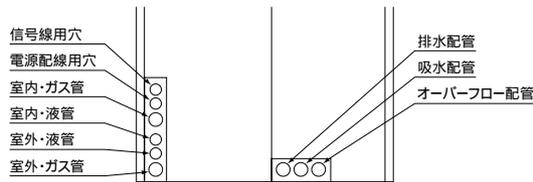
液配管用分岐管	ガス配管用分岐管	異径継手	断熱材
		継手A 2ヶ ID9.52 継手B 6.35 1ヶ OD19.05 継手C ID15.88 1ヶ OD15.88 継手D ID19.05 1ヶ	

・ DIS-WB

液配管用分岐管	ガス配管用分岐管	異径継手	断熱材
		継手D 1ヶ OD15.88 継手E ID12.7 1ヶ OD28.58 (ID25.4) 継手B OD25.4 (OD28.58) 1ヶ OD19.05 継手C ID15.88 1ヶ	

(b) 配管接続口

配管の接続は下図の通りにおこない、まちがえないように注意してください。

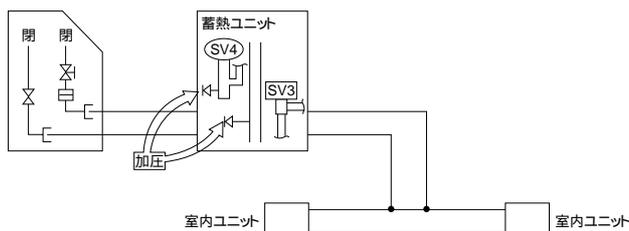


(c) 防熱・防露

配管接続後、ガス管、液管共断熱材で保温してください。保温がないと結露水による事故や、能力低下の原因となります。

(d) 気密試験要領

- 1) ユニット本体の気密試験は弊社にて実施済ですが、接続配管の気密試験 圧力3.0MPa(30kgf/cm²G)を実施する必要があります。配管接続後、蓄熱ユニット・室内ユニットと共に実施してください。尚、室外ユニットの操作弁は必ず“閉”のままにして実施してください。



- 2) 蓄熱ユニット内には電磁弁があります。気密試験は次に示す様に行ってください。

- ・窒素ガスによる加圧を上図に示す蓄熱ユニットの2カ所のチェックジョイントから行ってください。

(e) 真空引き

気密試験後、真空引きを行ってください。上図に示す蓄熱ユニットの2カ所のチェックジョイントから真空引きをしてください。

- ・蓄熱ユニットに通電している場合は蓄熱ユニットディップスイッチSW6-1をONにすると真空引きを早く完了することができます。真空引き完了後はディップスイッチSW6-1をOFFにしてください。

冷媒チャージ

冷媒の封入は、必ずかりを使用し、計量封入してください。

蓄熱ユニット分の冷媒追加量は下表の通りです。

形式	冷媒追加量	工場出荷時封入冷媒量
ISU10A	9kg	ホールディングチャージ

ホールディングチャージとは、空気が入らないよう少量の冷媒を封入していることです。

冷媒の封入は現地配管分とあわせて行ってください。

現地配管分の冷媒追加量は下表の通りです。

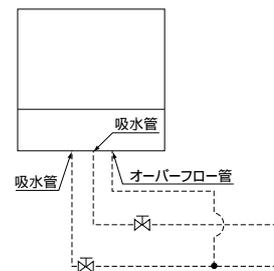
液管のみ

室外ユニット~蓄熱ユニット	12.7 : 0.045kg / m	
室内ユニット~蓄熱ユニット	15.88:0.2kg / m、 9.52:0.06kg / m、	12.7:0.12kg / m、 6.35:0.03kg / m

(5) 水配管

各配管の位置は、外形図(1023ページ)の配管接続口及び下図をご覧ください。なお下図の点線経路が現地工事となります。

給水接続口	Rc3 / 4
排水接続口	VP25A
オーバーフロー接続口	VP25A



給水配管

蓄熱ユニットに貯水するための配管です。貯水量のコントロールをフロートスイッチと電磁弁開閉にて行うため、通電状態で給水してください。給水用電磁弁は、電源投入後、フロートスイッチがOFFならば「開」になります。また運転中は常時給水バルブ(手動)を“開”でご使用ください。水道管へ直接接続することは、水道法で禁止されています。受水タンクを経由してください。直接水道管より給水する場合は、逆流防止の措置をとる必要がありますので専門の業者にご依頼ください。

(6) 試運転

蓄熱ユニットプリント基板，ディップスイッチSW6により蓄熱運転，ピークカット冷房試運転ができます。運転後は通常の位置にもどしてください。

⚠注意 試運転は蓄熱ユニットに給水した後に行ってください。
運転はディップスイッチを通常の状態にもどすまで止まりません。注意して運転してください。



(7) 蓄熱ユニット内の水について

シーズンオフ(暖房シーズン)前に下記の処置を行ってください。

蓄熱タイマー (ISU-WT) の手動入・切スイッチ1を「切」にして蓄熱を行わないようにしてください。
ピークカット運転を水温優先 (ディップスイッチ SW4-1 ON) 又はタイマーの水温優先 (ディップスイッチ SW4-2 ON) で行い，蓄熱ユニット内の氷を完全に解かしてください。
氷が完全に解けた後に蓄熱タイマー (ISU-WT) の手動入・切スイッチ2を「切」にしてください。
蓄熱ユニット内の水は2年を目安に入れ替えてください。

⚠注意 蓄熱ユニット内に氷がある状態で水を抜きますと，故障の原因になることがあります。
水の入れ替えは販売店にご相談ください。

シーズンイン(冷房シーズン)前に下記の処置を行ってください。

蓄熱ユニットに通電状態であることを確認してください。
給水する時は，給水バルブ (手動) を開にして給水してください。
給水は自動的に止まります。給水バルブ (手動) は常時“開”でご使用ください。
蓄熱タイマーの手動スイッチ1 (蓄熱) および手動スイッチ2 (ピークカット) を「自動」にしてください。